

初夏を彩る 花かつみ



雨にぬれる花かつみ

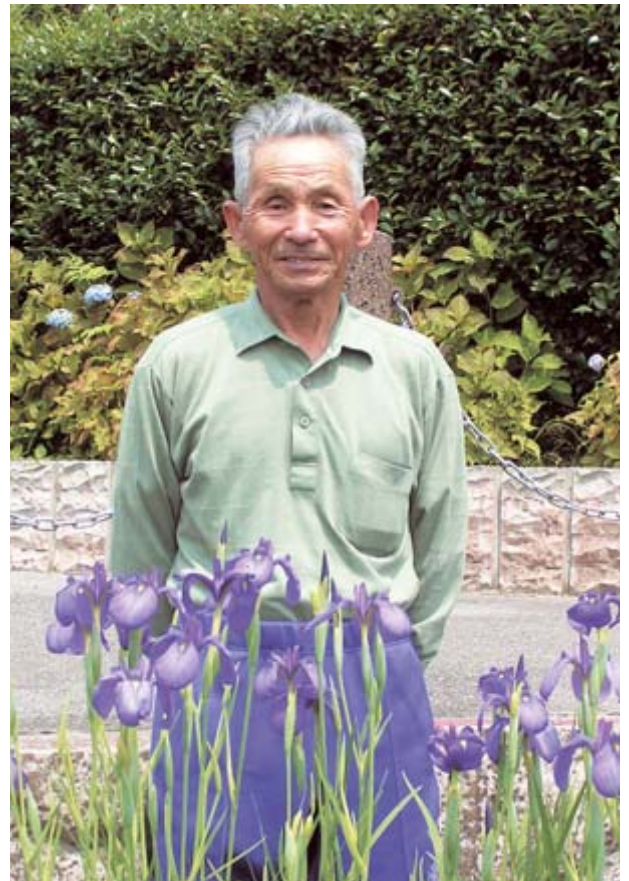


花かつみ園を見学する草木保育園児たち

草木地区にある花かつみ園が六月四日から十八日まで一般公開されました。
花かつみ保存会(竹之越隆幸会長)により大切に保護されている、幻の花“花かつみ”。今年は開花が天候不順の影響で遅れました。それでも開園から一週間が経つと見事な花を咲かせ、町内外から多くの見学者が訪れました。

天候の不順が影響して、例年よりも一週間開花が遅れました。長年守り続けたものが途切れてしまふかと心配しましたが、六月四日に二輪の花がなんとか無事に咲いてくれたのでほっとしました。
保存会の皆さんといっしょに草取りや水の管理をするのは大変なことですが、今年からデンソーの社員の方が昼休みを利用して草取りを手伝ってくれました。多くの皆さんの協力のおかげで花かつみは守られています。

花かつみに魅せられて 保存会会長 竹之越隆幸さん



平成13年から会長を務める竹之越さん

います。
昨年、愛知万博市町村デー『阿久比町の日』で花かつみを出展して世界の皆さんに披露できたことはとてもうれしかったです。
アヤマやシヨウブに比べると花の大きさは小さいですが、鮮やかに色付く紫色のあでやかさは何とも言えません。その魅力に取り付かれた一人として、これからも大切に“幻の花”花かつみを守っていこうと思います。